

2007年10月1日

エファジャパン

## 自治労栃木県本部アジア子どもの家奨学金事業

### 2007年度報告書

2007年8月10日、ハイフォン市アンラオ地区にて2007年度自治労栃木県本部アジア子どもの家奨学金授与式典が開催され、エファジャパンから高山が出席いたしました。

昨年同様、支援対象にあるハイフォン市内の地区および児童保護施設の子ども達70人に奨学金が授与され、またニエムギア子どもの家の子ども達50人に健康保険金が支払われ、その他緊急手術の必要な子ども一人の手術代が支払われました。

以下に、ハイフォン市児童保護基金からの報告を和訳し記載いたします。

自治労栃木県本部、エファジャパン御中

何年もの間、自治労栃木県本部には、ハイフォン市の困難な状況におかれた子ども達に対する支援をしていただいています。自治労栃木県本部ハイフォン市に多額の支援金を託してくださり、その利息を運用して、毎年多くの子ども達に奨学金を渡すことが出来ています。

合意書に従い、ハイフォン市児童保護基金は、銀行に全額を預け、その利子を1年に1回取りまとめ、生活や教育に困難な問題を抱えている子ども達に、奨学金や文具等を渡してきました。2004年までに自治労栃木県本部から預かった金額は680,722,000ベトナムドンです。その結果は、2004年は60人、2005年は60人、2006年は70人の子どもが奨学金を受け取りました。奨学金は一人当たり500,000ベトナムドンで、文具等のギフトとともに渡されます。この奨学金は、9月の新学期に向け学校の制服や勉強道具の購入費として有効に使われます。

前年と同様に、2007年度も、ハイフォン市児童保護基金は70人の子どもに奨学金を授与することを決定しました。決定に当たっては、ハイフォン市人口家族子ども委員会（児童保護基金の上の機関）が、下記の地区の児童保護施設およびSOSビレッジ、ホアフンビレッジ、ニエムギア子どもの家を調査し、優秀な子どもを選定しました。

地区：ティエンラオ地区、ビンバオ地区、アンラオ地区、キエントウイ地区、トゥイグエ

ン地区の児童保護施設

その他：SOS ビレッジ、ホアフンビレッジ、ニエムギア子どもの家

2007年現在、ハイフォン市児童保護基金は自治労栃木県本部から預かった全額の680,722,000ベトナムドンを預金しており、本年度の利子は48,438,700ベトナムドンで、その利子は奨学金事業に使われました。

ハイフォン市人口家族子ども委員会は、今後も支援対象の地区および児童保護施設の子ども達を見守り、奨学金を受ける子ども達を慎重に選択し、合意書通りに目的に従って子ども達の勉強のために奨学金事業をおこないます。

自治労栃木県本部とエファジャパンには、ハイフォン市の困難な状況に置かれた子ども達が社会で活躍できるように、今後ご協力とご支援を是非続けていただきたくお願いいたします。

ハイフォン市児童保護基金

理事長

ヴォ ティ ホン